

2023(令和5)年度 事業方針

■ 事業方針

より良い試行錯誤を重ねてそれぞれの課題に挑戦しよう！

『スカウト活動を楽しむために・・・』

2022 年度は法人化初年度として当連盟も大きな転換期でありました。そして同時に過去長い間登録人数の減少に歯止めをかける努力が効果をもたらして、反転する機運を感じ取ることができた一年であったと思います。

過去約 3 か年におよび私たちの活動に大きく影響を与えた新型コロナウイルス感染症は、漸く落ち着きを取り戻そうとしています。しかし、手放して喜ぶだけでなく今後もしっかりと継続して感染症対策にも気を配ることは必要だと思えます。

私たちが健康に気を付ける事と同じように社会生活や環境に目を転じると SDGs への取り組みやプラごみの削減、大きなテーマとしては地球温暖化への対応など多くの課題が顕在化しています。これらの取り組みも社会連携の活動の一つとして様々な形に変えて展開しなければなりません。

一社)日本ボーイスカウト神奈川連盟 2023 年度事業方針を次の通りお伝え致します。

神奈川連盟を構成する6地区には、それぞれの地域性と永く培われた特性があります。これからも、これら独自性を大切にしながら、神奈川連盟と相互に響き合う活動の連携にも着目して活動フィールドの拡大と展開を図りたいと考えています。

2023 年度は今まで以上に県連盟内体制、より良いシステムの構築に加えて会議の開催方法など過去の慣習にとらわれずに改善に取り組みます。

2023 年度の事業方針は単純で分かりやすい言葉を選びました。

この方針に基づき、私たちが取るべき行動はそれぞれの立場で発生する課題に対して、取捨選択を繰り返して、最適な活動の環境を作り上げることに挑戦しようというものです。

この挑戦の目的はなんと言っても、私たち自身が活動を通じて楽しむことを大切にすることにほかなりません。しかしながら、社会との融和と活動の連携には、神奈川連盟を取り巻く環境に限らず、各地区の環境にも配慮して、より一層緊密に連帯感の創出に繋げる必要を感じます。

県連盟が取り組むべき事業に関しても、継続するもの・新たに加えるもの・復活するもの・見直すもの等に分けて考え、関係者と共有した上で選別作業を実施する計画としています。

楽しくスカウティングを展開することを理想とするならば、それぞれの理想を獲得する為のアイデアや想いをエネルギーに変えて、隊においても、団においても、地区においてもそして、神奈川連盟においてもアクションプランを策定して、目指すゴールに向かう道筋をプログラムとして展開させねばなりません。そして、この計画には継続性を持たせ、単年度計画にとどめず

3か年程度の中期計画を策定する必要があると考えます。

但し、この中期計画は2023年度中に関係者による意見交換を経て、取り纏めすることを意味しており、新たな枠組みや取り組みなどを構築することになります。

具体的に言えば、2023年度に本中期計画に盛り込むべき内容を協議・検討して、同時にアクションプランに落とし込む作業を完了させる。そして、2024年度を初年度とし、2026年度に計画通りの結果を得られたか評価する。

私たちの理想は、楽しく活動をする為に各委員会の活動やプログラムを通じて、或いは県連が提供するセミナー、研究集会等様々な場面で広くご意見を聴ける仕組みの構築にも取り組み、これからも前進して参ります。

県下皆さまの一層のご理解とご協力を頂く所存です。

神奈川連盟の伝統と従来からの事業方針を踏まえ、より良き試行錯誤を重ねて神奈川連盟がやるべき事業を展開致します。

新年度の活動方針を次の3点とします。

皆様さまからの変わらぬご支援とご協力をお願いする次第です。

2023年度神奈川連盟の更なる発展を目指しましょう！

《活動方針》

1. 「楽しいスカウティング」に向けた活動を展開します。

- ・スカウティングの本質を見極めた活動を「楽しいスカウティング」と位置づけ、進歩促進、指導者養成、団運営の側面から物事を捉え、ポストコロナ時代における県下各団の活動を支援します。

2. 青少年育成を通じて社会貢献する運動の推進と認知度を高め、加盟員の拡大に繋がります。

- ・2022年度の神奈川連盟法人化により、今後はより一層に社会と連携を図り、社会貢献に繋がる活動を展開しなければなりません。外向きの情報発信に注力するとともに、外部団体主催事業への奉仕などを通じて、ボーイスカウト運動の認知度を高める取り組みを展開します。

また、神奈川連盟は登録人数の反転する大事なタイミングであります。「ワクワク自然体験あそび」などの組織拡充を継続展開し、新規加盟員の増大化機運を県各団に定着させる取り組みを展開します。

3. 中長期的な視点でこれからの神奈川連盟の活動の方向性を示すVISION策定を行います。

- ・ボーイスカウト運動を取り巻く青少年の成長や社会課題は我々の想定を超えるスピードで変化・複雑化しています。一方で五感を大事にした泥くさい活動を変える必要はないと考えます。